

ダンプ後部扉開き、衝突

伊賀の国道 軽トラの男性死亡



後部扉が開き、軽トラックと衝突した大型ダンプカー＝名張署で

【伊賀】十四日午前十時三十五分ごろ、伊賀市下川原の国道165号で、津市一志町小山、会社員漁喜久さん(37)の大型ダンプカー(十ト)の後部扉が開き、松阪市小野江町の農業、熱田博和さん(70)の軽トラックと衝突。熱田さんは頭などを強く打ち、伊賀市内の病院で死亡した。漁さんと、大型ダンプに同乗の男性にけがはなかった。名張署によると、ダンプカーは津市白山町の産廃収

集運搬業社の所有。漁さんは午前八時ごろ、同市一志町波瀬の勤務先で木くずを積み、伊賀市内の産廃処理会社に向かったが、道に迷って引き返す途中だった。

後部扉は鉄製で、縦一・九段、横二・四段。扉の左側と下側に付けられた五個の留め具で固定する方式だ

ったが、一部の留め具は既に壊れていたらしい。漁さんらは、衝突するまで扉が開いていることに気付かなかったという。

現場は緩やかなカーブで見通しは良く、同署は何らかの理由で留め具が外れたとみて、自動車運転過失致死の疑いで調べている。